

(別紙)

物 件 目 録

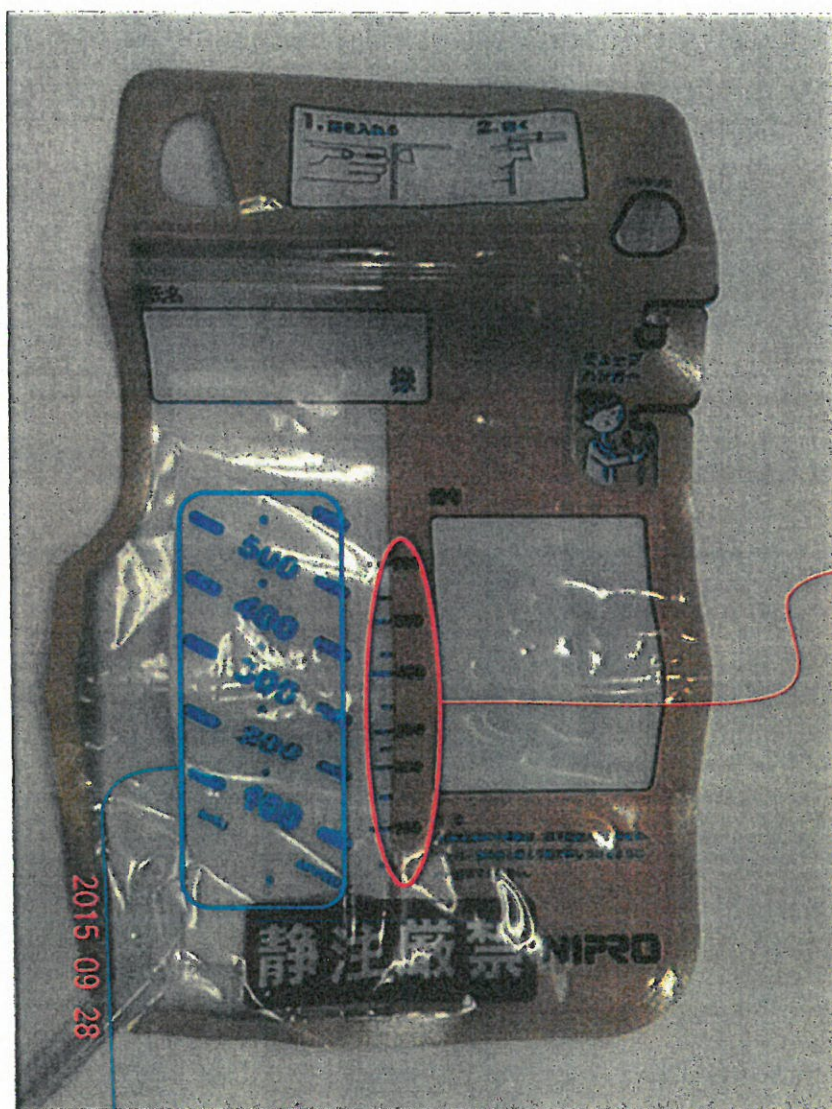
商品名 経腸栄養注入セット「ニプロ経腸栄養バッグ」

品番・規格	1	EFA-5ST Z
	2	EFA-10ST Z
	3	EFA-5ST ZN
	4	EFA-10ST ZN
	5	EFA-5ST ZH
	6	EFA-10ST ZH
	7	EFA-5 TMD

以 上

(別紙)

目盛り説明図



水平目盛り

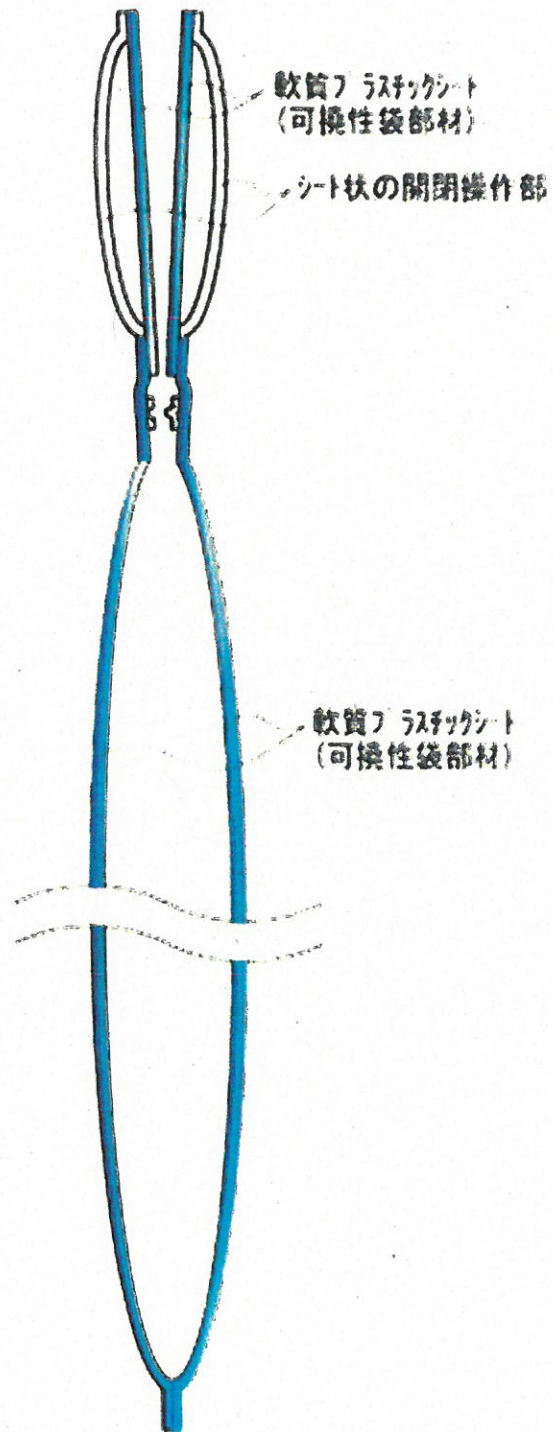
斜め目盛り

本件発明の対比表

本件発明1の構成要件	本件発明2の構成要件	原告主張イ号物件	被告主張イ号物件
A 少なくとも2枚の軟質プラスチックシートが貼りあわされることにより形成され、	A' 少なくとも2枚の軟質プラスチックシートが貼りあわされることにより形成され、	a 4枚の軟質プラスチックシートが貼りあわされて形成されている可撓性袋部材がある。	a' 正面側と裏面側の2枚の軟質プラスチックシート(1a, 1b)が貼り合わされて形成されている可撓性袋部材(2)がある。
B 開閉式の開口部と、	B' 開閉式の開口部と、	b 前記可撓性袋部材は、上部にジップにより開閉自在とする開閉式の開口部を有する。	b' 該可撓性袋部材(2)は、上部にジップ(3)により開閉自在とする開閉式の開口部(4)を有する。
C 経腸栄養法で使用される液状物を収容するための収容部とを含み、	C' 経腸栄養法で使用される液状物を収容するための収容部とを含み、	c 前記可撓性袋部材は、下部に経腸栄養法で使用される液状物を収容するための収容部を有する。	c' 該可撓性袋部材(2)は、下部に経腸栄養法で使用される液状物を収容するための収容部(5)を有する。
D 少なくとも一方の主面に前記液状物の量を示す目盛りが表示された可撓性袋部材と、	D' 少なくとも一方の主面に液状物の量を示す目盛りが表示された平袋状の可撓性袋部材と、	d 前記可撓性袋部材は、両方の主面に前記液状物の量を示す目盛りが表示された平袋状の可撓性袋部材である。	d' 該可撓性袋部材(2)は、正面側の軟質プラスチックシート(1a)にのみ前記液状物の注入量を示す目盛りが表示された平袋状の可撓性袋部材である[乙1(写真撮影報告書)写真1, 2]。
E 前記可撓性袋部材に固定された排出用ポートと、	E' 前記可撓性袋部材に固定された排出用ポートと、	e 前記可撓性袋部材の下部に排出用ポートが固定されている。	e' 該可撓性袋部材(2)の下部に排出用ポート(6)が固定されている。
F 前記可撓性袋部材の両主面の各々に前記可撓性袋部材の右側または左側から片手の指を挿入するための、上縁部及び下縁部が各々前記軟質プラスチックシートに固定されたシート状の1対の開閉操作部を含み、	F' 前記可撓性袋部材の両主面の各々に前記可撓性袋部材の右側または左側から片手の指を挿入するための上縁部及び下縁部が固定されたシート状の1対の開閉操作部を含み、前記開閉操作部は、各々、前記開口部に固定されており、	f 前記可撓性袋部材の両主面の各々に前記可撓性袋部材の左側(表裏を裏返しにすれば右側)から片手の指を挿入するための、上縁部及び下縁部を含む周縁部が各々前記軟質プラスチックシートに固定された1対のシート状の開閉操作部を含み、前記開閉操作部は、各々、前記開口部に固定されている。	f' 該可撓性袋部材(2)を構成する2枚の軟質プラスチックシート(1a, 1b)の上方内側には、上下縁付近において弛みなく、並びに左右縁においては可撓性袋部材(2)の短手方向と同寸法にて、内側から該軟質プラスチックシート(1a, 1b)に溶着された、2枚のシート状部材(7a, 7b)が介在し、該軟質プラスチックシート(1a, 1b)の上方部分と2枚のシート状部材(7a, 7b)により表裏各々2つの袋部(8a, 8b)が形成され、可撓性袋部材(2)の正面視左側に、可撓性袋部材(2)を構成する軟質プラスチックシート(1a, 1b)に略半円状に切り込みを入れ、当該切り込みにより形成された舌片を内側に折り曲げて形成した、片手の指を挿入する挿入口(9a, 9b)が設けられ、該挿入口(9a, 9b)から上記袋部(8a, 8b)内に向けて、片手の指のみが挿入可能となっている(別紙被告製品説明書図2, 図4参照)。
G 前記開閉操作部に挿入した片手の指を各々遠ざけるように開くことにより前記開口部の開口状態を維持できること	G' 一方の前記開閉操作部と前記可撓性袋部材の一方の主面との間に挿入した前記片手の指の親指と、他方の前記開閉操作部と前記可撓性袋部材の他方の主面との間に挿入した前記片手の指の親指以外の指とを開くことにより前記開口部の開口状態を維持でき、	g 前記開閉操作部に挿入した片手の指を各々遠ざけるように開くことにより前記開口部の開口状態を維持できる。	g' 挿入口(9a, 9b)に挿入した片手の指を遠ざけるように開くことにより上記開口部(4)の開口状態が維持できる。
H を特徴とする医療用軟質容器。	H' ことを特徴とする医療用軟質容器。	h 医療用軟質容器である。	h' 経腸栄養バッグである。
I' 前記可撓性袋部材の両側部のうちの、前記開閉操作部と前記可撓性袋部材の主面との間に前記片手の指が挿入される側の側部の辺が曲がっていることにより、前記可撓性袋部材の前記開口部の幅が前記収容部の幅よりも狭くなっている	i' 前記可撓性袋部材の両側部のうちの、前記開閉操作部と前記可撓性袋部材の主面との間に前記片手の指が挿入される側の側部の辺が曲がっていることにより、前記可撓性袋部材の前記開口部の幅が前記収容部の幅よりも狭くなっている。	i 前記可撓性袋部材の両側部のうちの、前記開閉操作部と前記可撓性袋部材の主面との間に前記片手の指が挿入される側の側部の辺が曲がっていることにより、前記可撓性袋部材の前記開口部の幅が前記収容部の幅よりも狭くなっている。	i' 上記可撓性袋部材(2)の両側部のうちの、正面視左側に設けられた挿入口(9a, 9b)の側の側部の辺が曲がっていることにより、該可撓性袋部材(2)の開口部(4)の幅が上記収容部(5)の幅よりも狭くなっている。

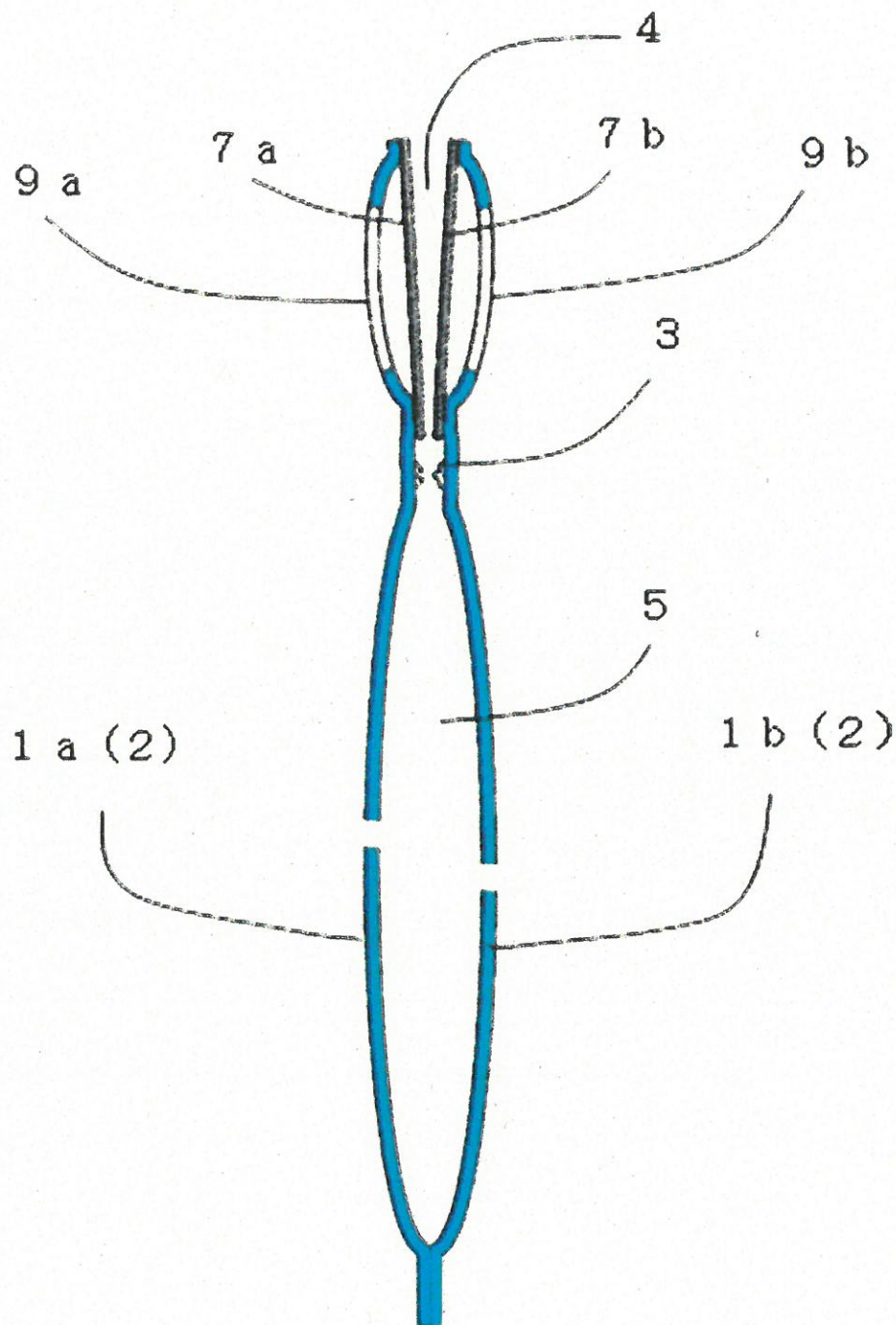
(別紙)

可撓性袋部材の説明図(原告主張)



(別紙)

可撓性袋部材の説明図(被告主張)



乙4 公報の図面

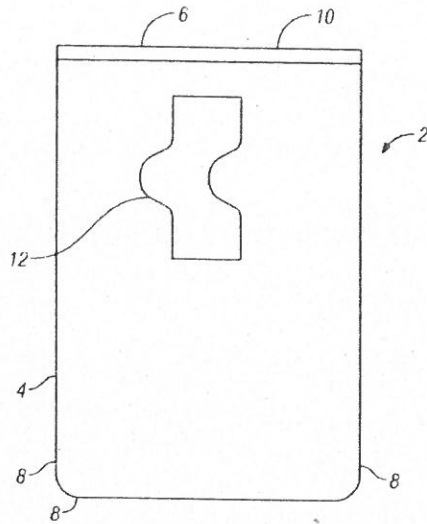


FIG. 1

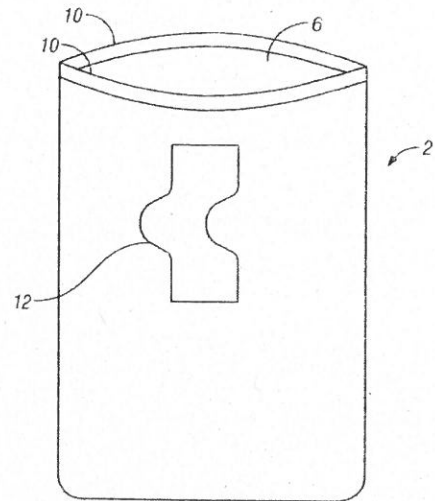


FIG. 2

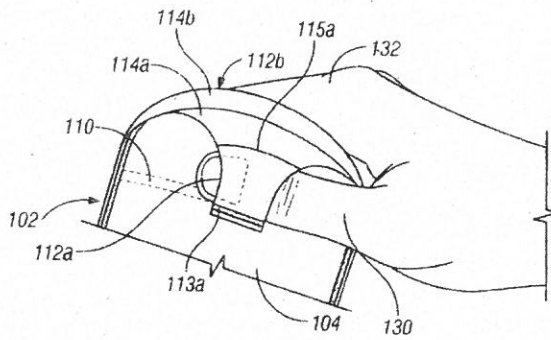


FIG. 10

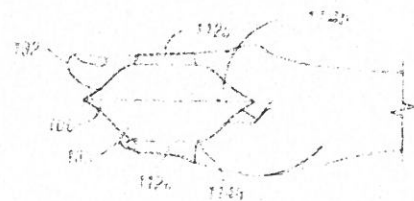


FIG. 11

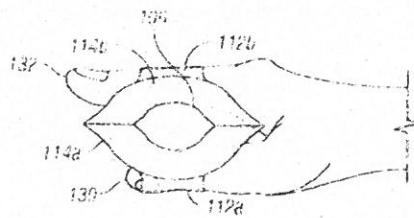
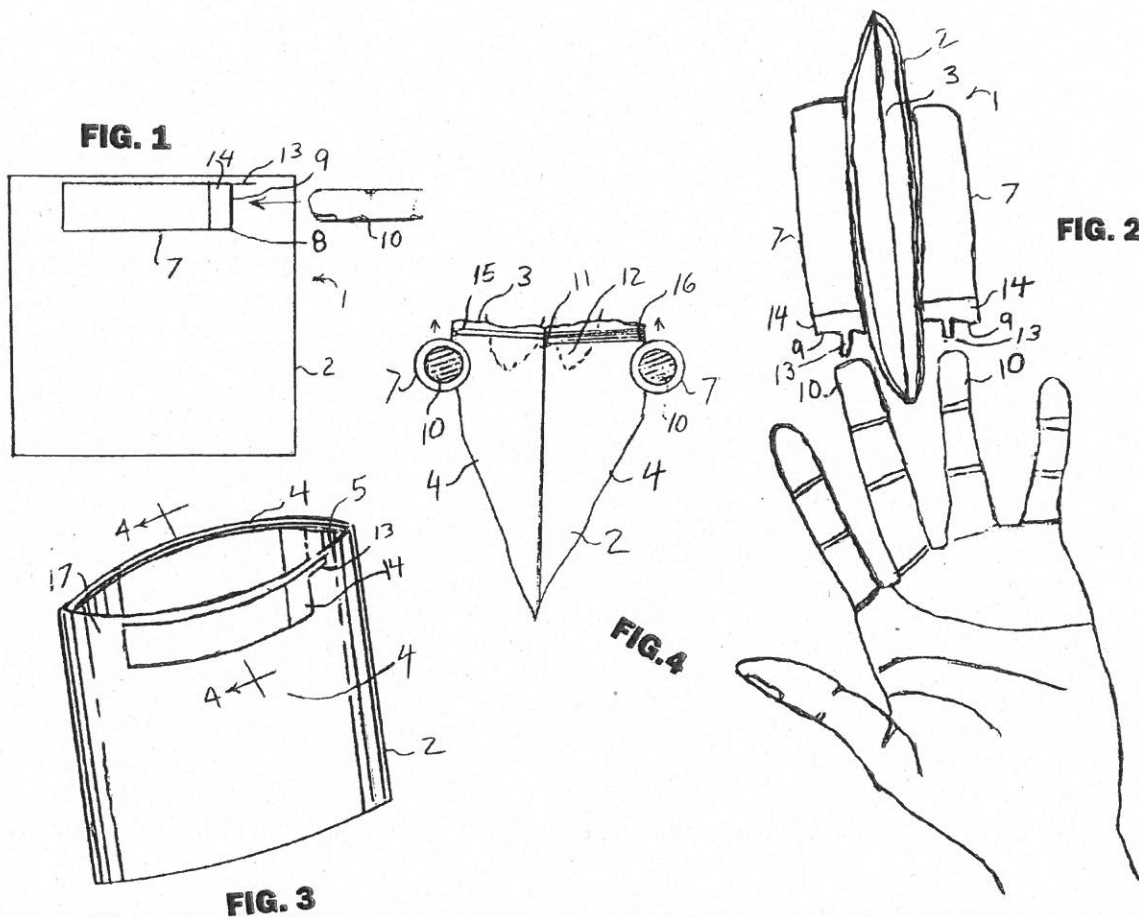


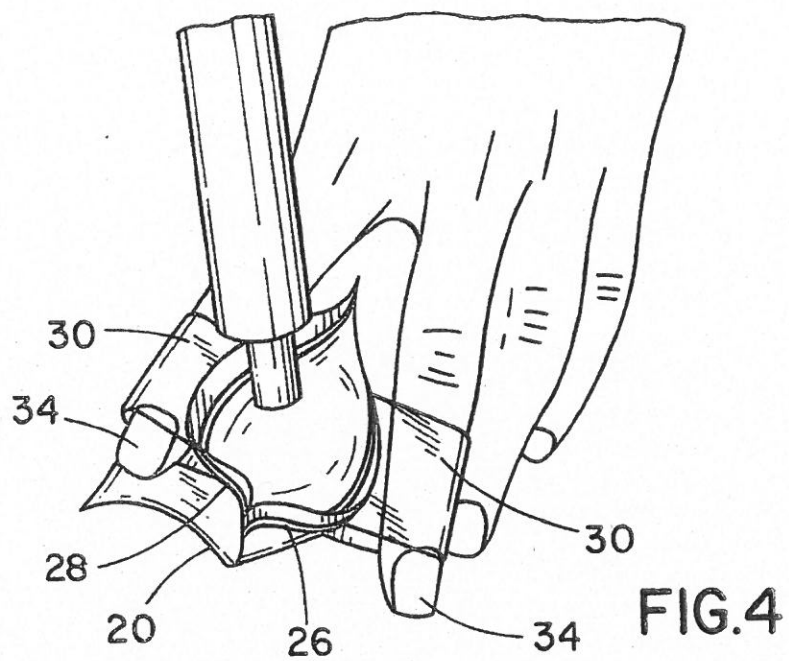
FIG. 12

乙5公報の図面



(別紙)

乙6 公報の図面



(別紙)

乙7公報の図面

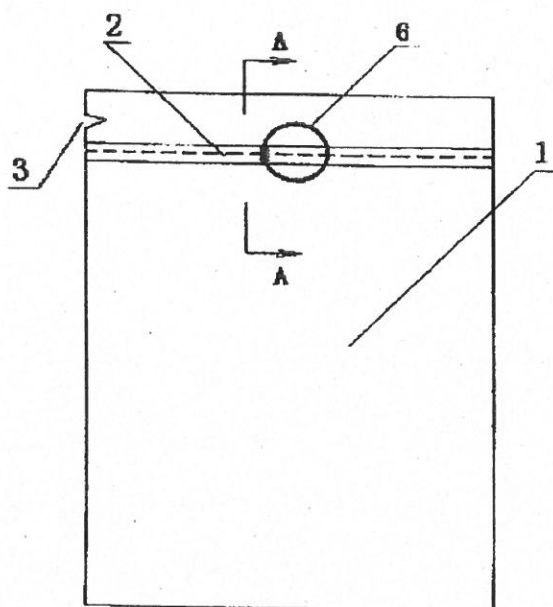


图 1

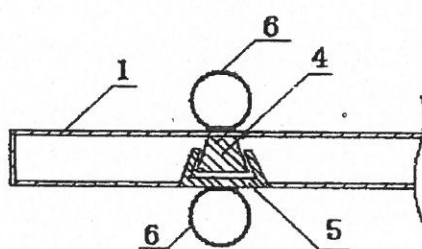
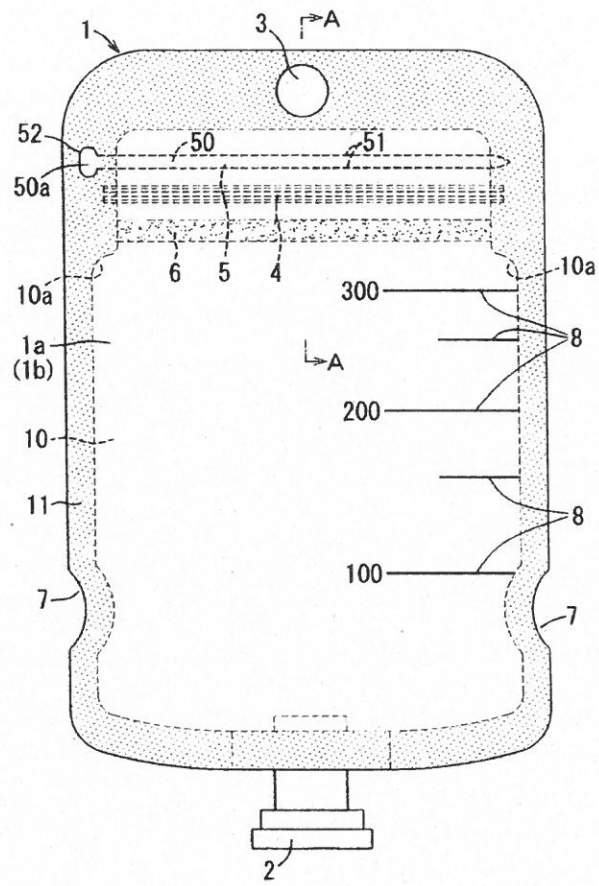


图 2

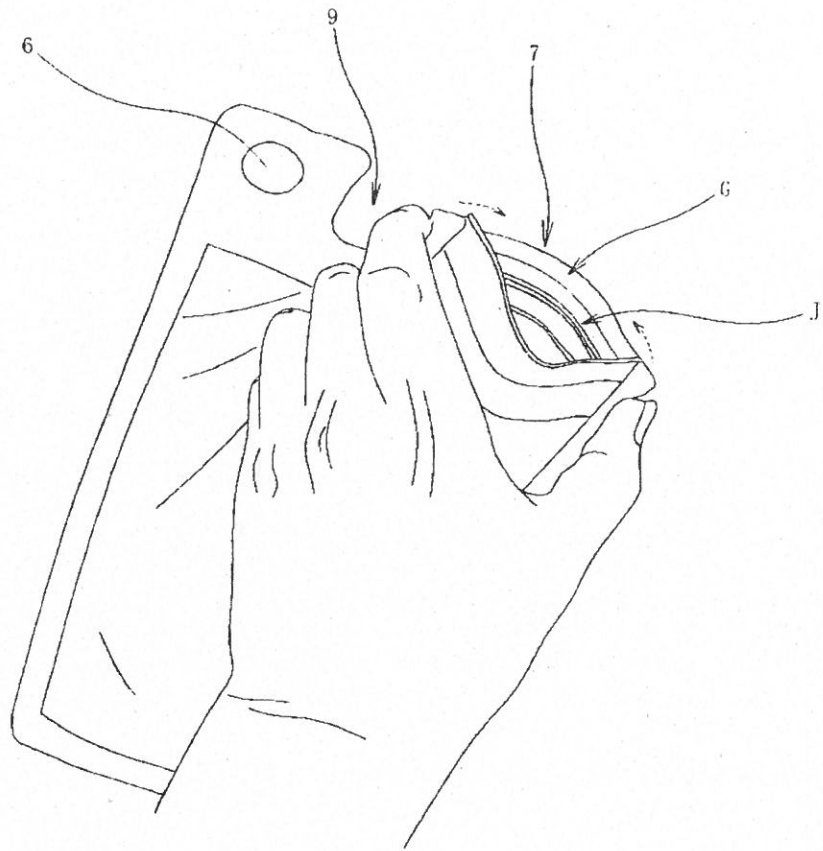
乙 1 3 公 報 の 図 面

【 図 1 】



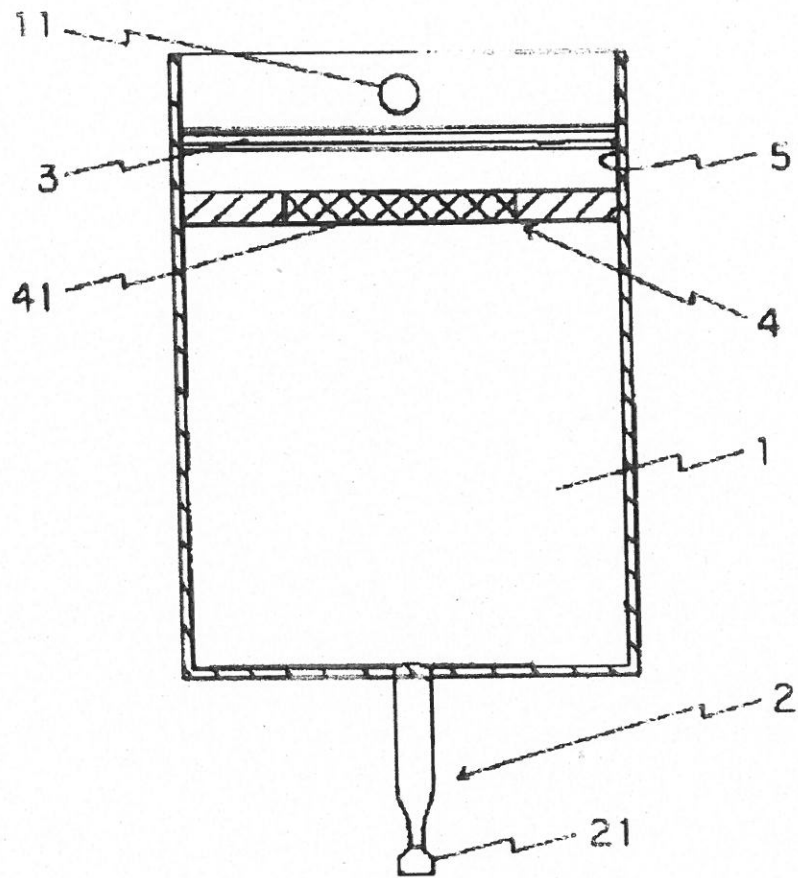
乙23公報の図面

【図4】



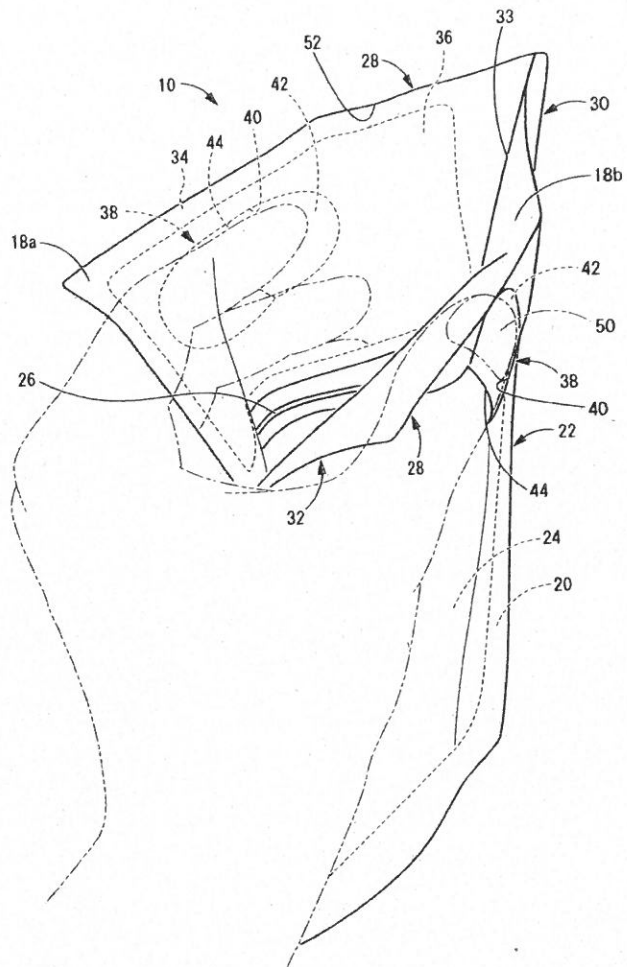
乙28公報の図面

【図1】



乙40公報の図面

【図5】



(別紙)

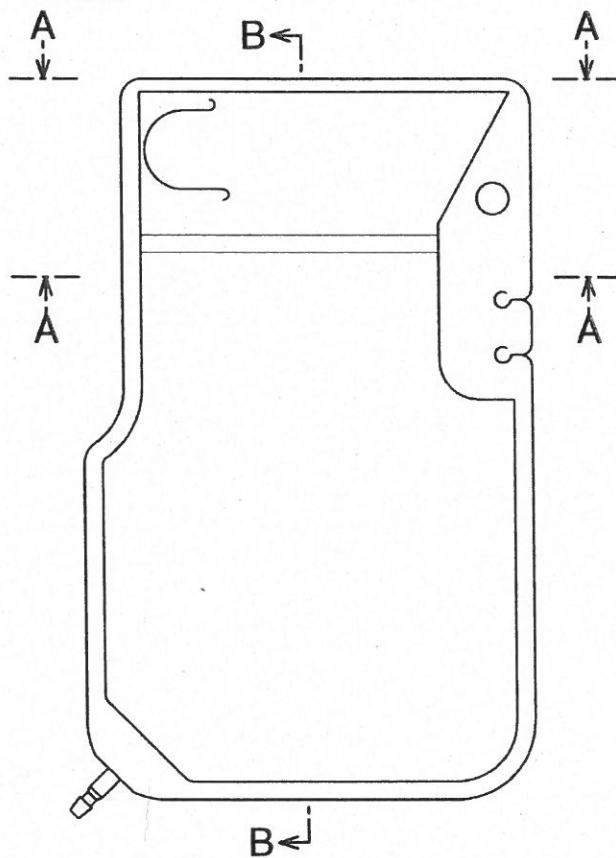
乙 4 4 意匠公報図面

(55)【意匠に係る物品の説明】本願意匠に係る物品は、例えば、経腸栄養剤等の薬液を輸液するときに使用されるものであり、使用状態を示す参考図1に示されるように、指用切り込みに指を入れてバッグの口を広げることにより、薬液を入れ易くしたものである。また、本物品は、使用状態を示す参考図2に示されるように、ポート部に接続されたチューブをチューブ用切り込みに掛けて長さを調節することも可能なものである。

(55)【意匠の説明】背面図は正面図と対称に表れる。シール部を示す参考正面図において、ハッチング部は、正背面が一体的にシールされている部分である。

【図面】

【正面図】



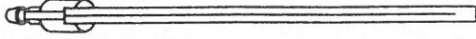
【左側面図】



【右側面図】



【平面図】



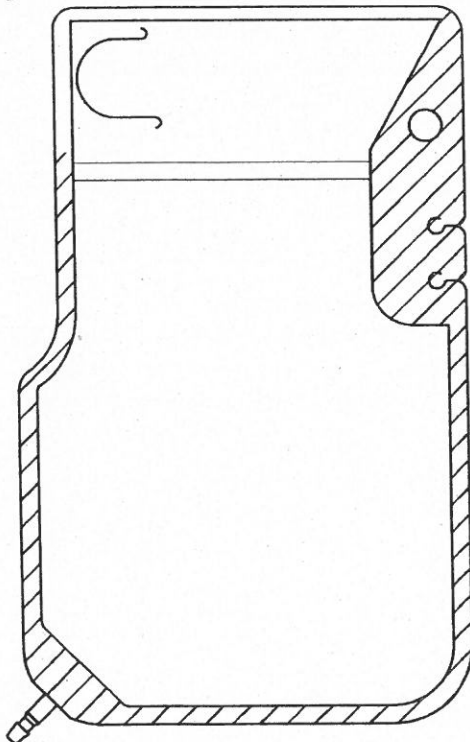
【底面図】



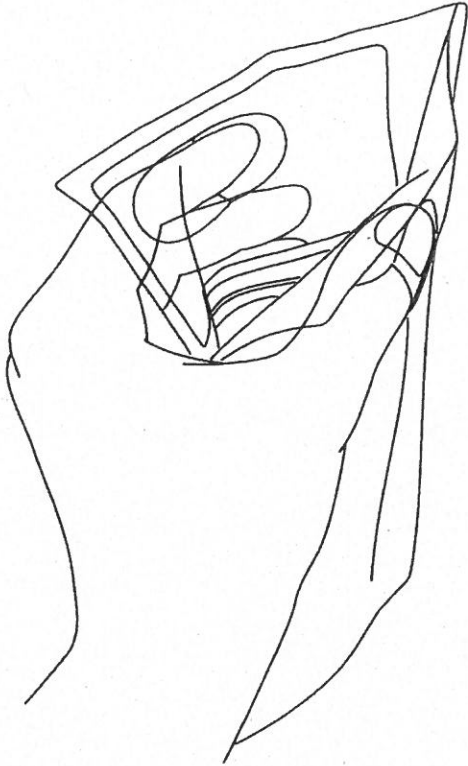
【A部B-B線拡大断面図】



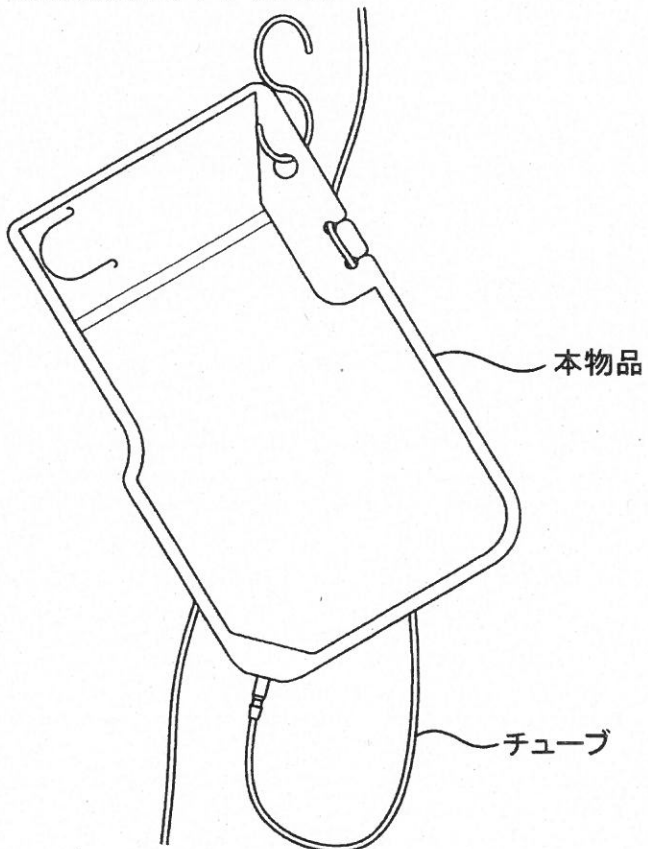
【シール部を示す参考正面図】



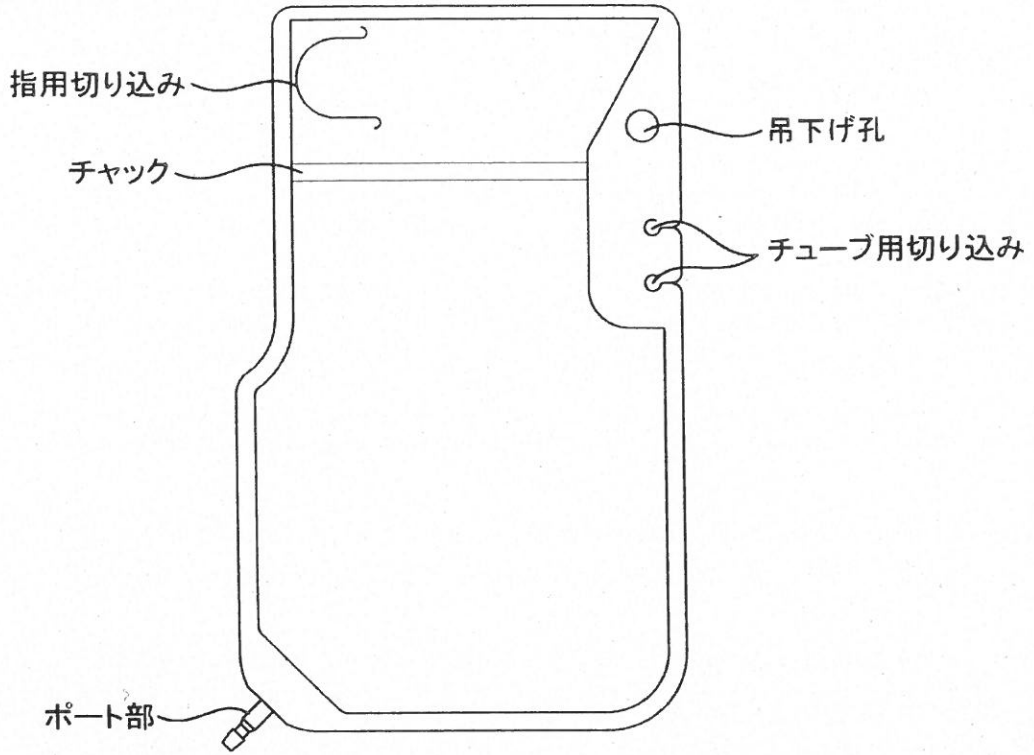
【使用状態を示す参考図1】



【使用状態を示す参考図2】



【各部の名称を示す参考図】



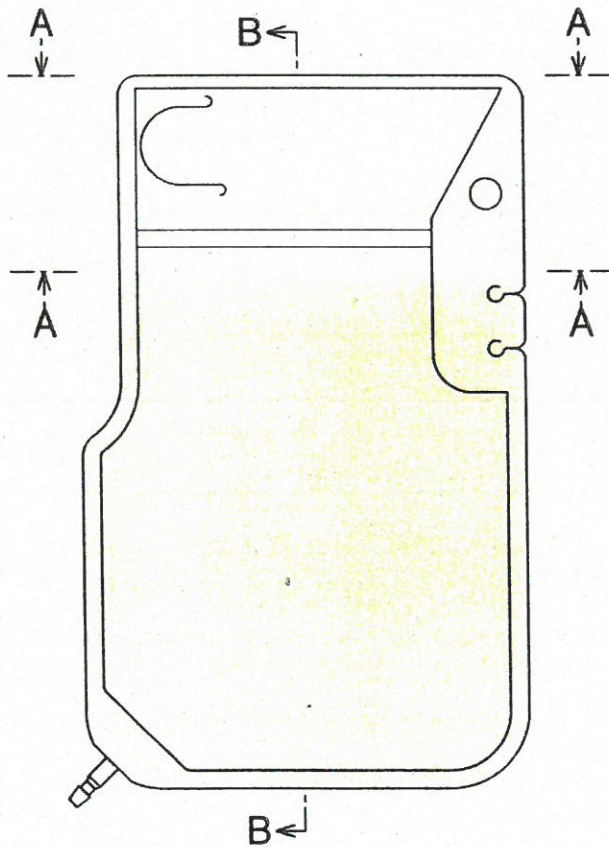
乙 4 5 意匠公報図面

(55)【意匠に係る物品の説明】本願意匠に係る物品は、例えば、経腸栄養剤等の薬液を輸液するときに使用されるものであり、使用状態を示す参考図に示されるように、切り込みに指を入れてバッグの口を広げることにより、薬液を入れ易くしたものである。

(55)【意匠の説明】薄墨を塗った部分以外の部分が部分意匠として意匠登録を受けようとする部分である。A部B-B線拡大断面図を含めて部分意匠として意匠登録を受けようとする部分を特定している。背面図は正面図と対称に表れる。シール部を示す参考正面図において、ハッチング部は、正背面が一体的にシールされている部分である。

【図面】

【正面図】



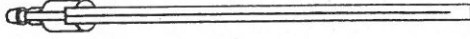
【左側面図】



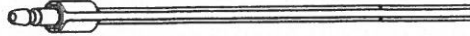
【右側面図】



【平面図】



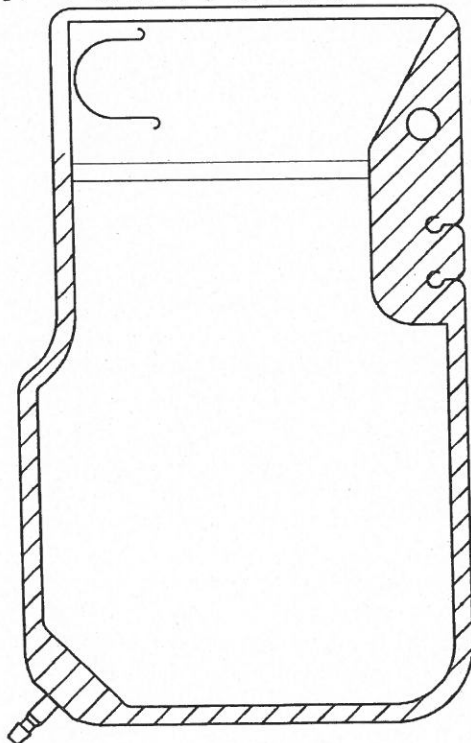
【底面図】



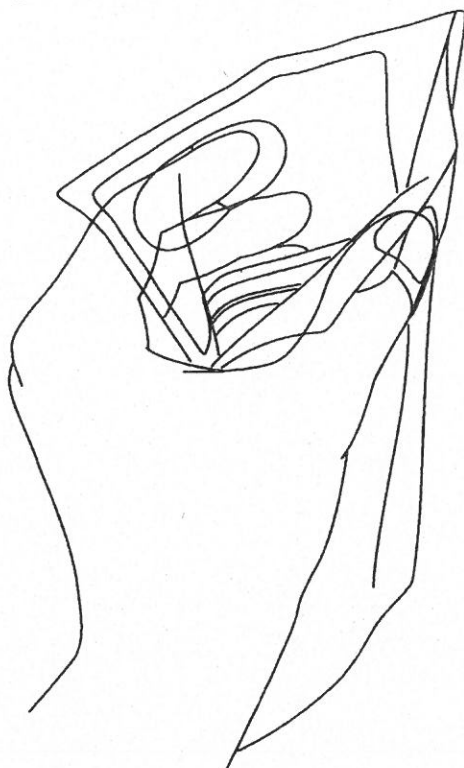
【A部B-B線拡大断面図】



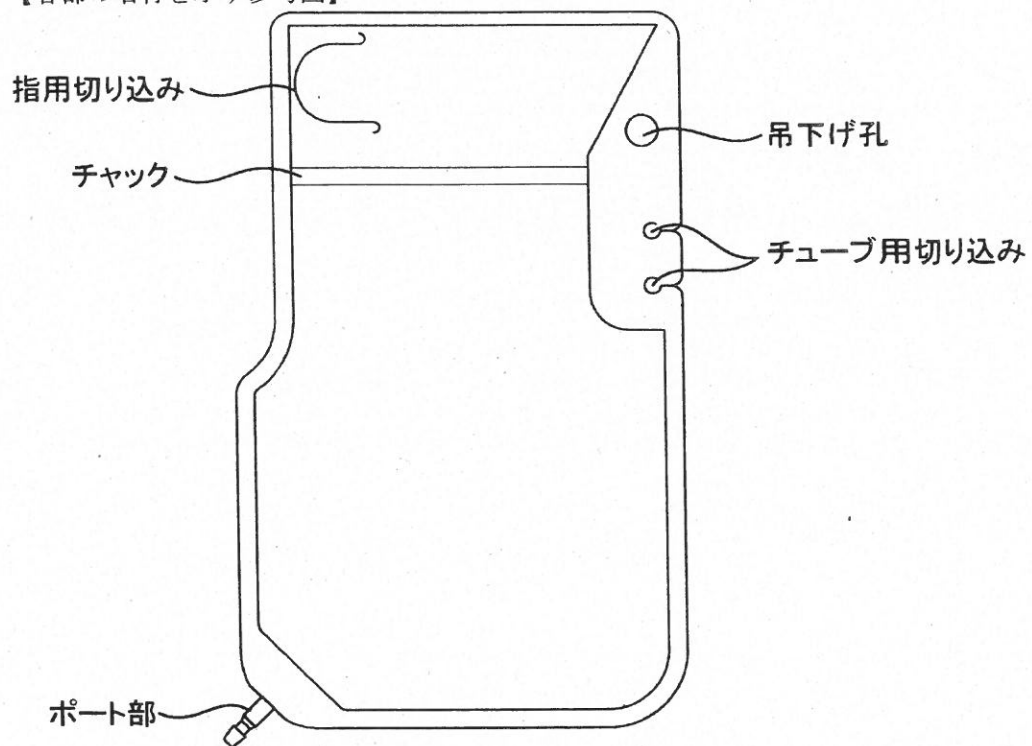
【シール部を示す参考正面図】



【使用状態を示す参考図】



【各部の名称を示す参考図】



(別紙)

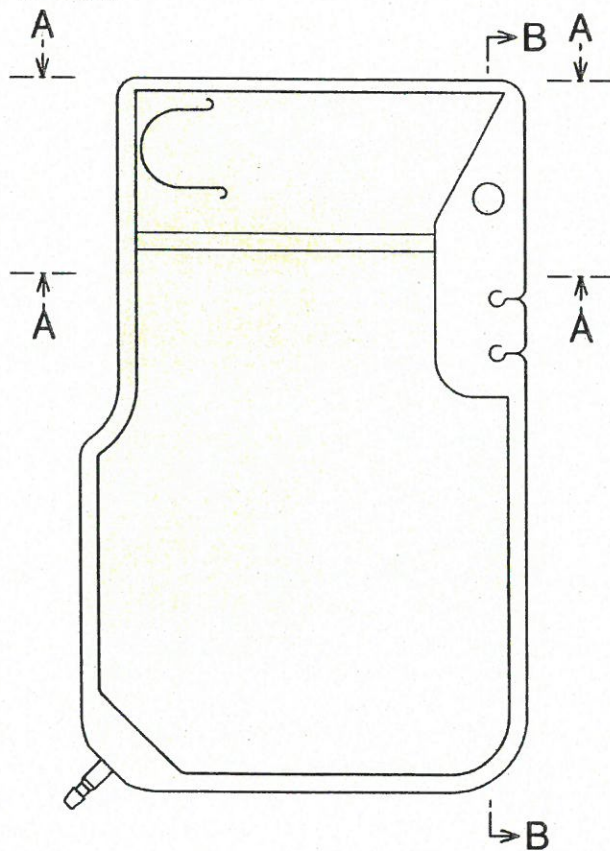
乙 4 6 意匠公報図面

(55)【意匠に係る物品の説明】本願意匠に係る物品は、例えば、経腸栄養剤等の薬液を輸液するときに使用されるものであり、使用状態を示す参考図に示されるように、ポート部に接続されたチューブをチューブ用切り込みに掛けて長さを調節することができるものである。

(55)【意匠の説明】薄墨を塗った部分以外の部分が部分意匠として意匠登録を受けようとする部分である。A部B-B線拡大断面図を含めて部分意匠として意匠登録を受けようとする部分を特定している。背面図は正面図と対称に表れる。シール部を示す参考正面図において、ハッチング部は、正背面が一体的にシールされている部分である。

【図面】

【正面図】



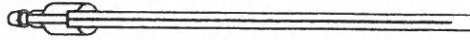
【左側面図】



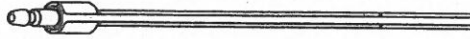
【右側面図】



【平面図】



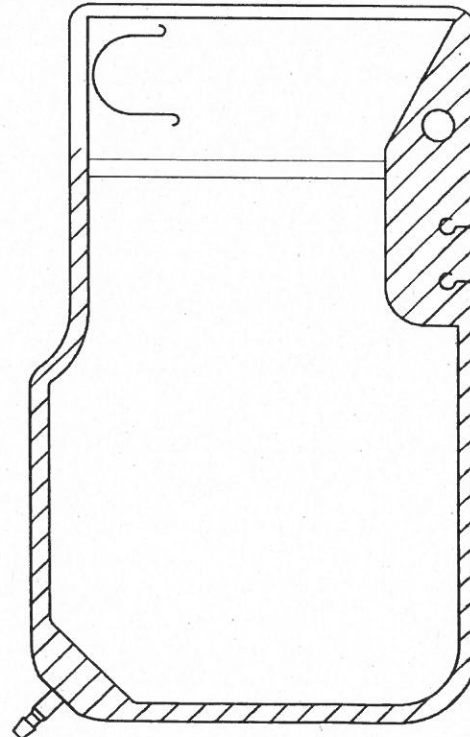
【底面図】



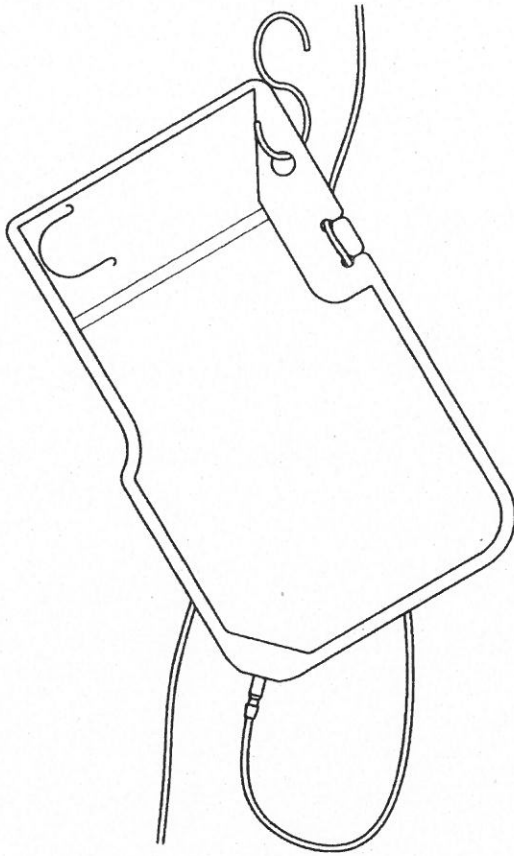
【A部B-B線拡大断面図】



【シール部を示す参考正面図】



【使用状態を示す参考図】



【各部の名称を示す参考図】

